

付 属 資 料 リ ス ト

試験成績書の発行を不要とされる場合は、資料の提出もしくは、記載内容の一部を省略できます。

● 付属資料 1)

浄化槽性能確認試験の試験条件設定に係る確認書

本付属資料は、試験槽を試験現場へ設置する前に浄化槽試験所と試験条件設定に関して打ち合わせた結果を「試験依頼事項の確認書」として提出いただくものです。

(試験申込資料として、記載内容の一部を省略可能です。)

● 付属資料 2)

試験槽の確認項目

試験槽の搬入・設置時に、本付属資料に記載された事項について、試験員立ち会いのもとで試験申込者により計測等を行っていただきます。試験槽の構造について、試験員の確認を必要とする事項がある場合、その内容を本付属資料に記載して下さい。

(試験申込資料として、省略可能です。)

* 付属資料 1～2 は、試験成績書に添付します。

浄化槽性能確認試験の試験条件設定に係る確認書

1. 浄化槽性能確認試験の責任確認事項

一般財団法人 日本建築センター（以下、「当財団」という）が行う浄化槽の性能確認試験は、「浄化槽の性能評価方法」、「浄化槽の性能評価方法細則」及び「浄化槽試験実施要領（浄化槽性能確認試験）」に基づき、試験申込者が当財団に依頼した試験方法・試験設定条件（試験槽の選定、構造等を含む）等（以下、「試験条件」という）で行います。

当財団が行う浄化槽の性能確認試験に関わる責任は、試験申込者が設定した試験条件に従って試験を行い、それにより得られた結果を試験成績書として発行することにあります。ただし、その試験成績書をもって「浄化槽の性能評価」への申請は出来ませんのでご注意ください。

また、性能確認試験において、試験申込者が行う作業等（試験槽の搬入、搬出、設置作業、試験申込者が自ら行う試験槽の維持管理作業（保守点検、清掃、採水その他定期的なメンテナンス等）、試験槽の修理や構造変更作業等）の実施に係わる安全の確保、作業の実施に伴って発生した事故・災害等に関する補償及び試験申込者が故意または過失により当財団または第三者に与えた損害についての賠償の責任は、試験申込者にありますので、作業の実施にあたっては十分ご注意ください。（浄化槽試験業務約款第19条に基づく別途協議事項 別紙）

2. 浄化槽性能確認試験の設定条件

項 目	申 込 者 記 入 欄 (記入方法：□ のみの項目はいずれかにレ印をチェック、その他は具体数値、構造、方法等を記入して下さい。)
性能評価試験申込予定 浄化槽の概要	<input type="checkbox"/> 家庭用浄化槽 <input type="checkbox"/> 一般浄化槽 目標処理水質項目 BOD _____ mg/L 以下、T-N _____ mg/L 以下、T-P _____ mg/L 以下 pH _____、大腸菌群数 _____ 個/cm ³ 以下 その他 _____ 処理対象人員： _____ 人 ~ _____ 人 日平均処理水量： _____ m ³ ~ _____ m ³
試験槽形状	<input type="checkbox"/> 一体型（FRP製等） <input type="checkbox"/> 分割型（単位装置組み合わせ型） <input type="checkbox"/> その他（ _____ ） 試験槽寸法（最大） 幅 _____ m、長さ _____ m、高さ _____ m 試験槽の流入管底・放流管底（試験槽底部からの高さ） 流入管底 _____ m 放流管底 _____ m
試験槽規模	<input type="checkbox"/> フルスケールモデルプラント（実槽に詰め物をしたもの等） _____ 人槽 <input type="checkbox"/> スケールダウンモデルプラント _____ 人槽 スケールダウンの比率 _____
試験水量の設定	日平均処理水量： _____ L/日 流入パターン： _____ 人槽 移送流量 _____ L/分 最大瞬間流量 _____ L/分 恒温短期負荷試験k値（以下のいずれかの数値に○印） 1.5 1.45 1.35 1.3 1.25 1.2

項目	申込者記入欄 (記入方法：□のみの項目はいずれかにレ印をチェック、その他は具体数値、構造、方法等を記入して下さい。)
試験槽付帯設備	電動機器の仕様（ブロウ、ポンプ類、制御盤） <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> √ W 基（ L/分） </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> √ W 基 </div>
試験期間	試験期間： 週間
馴養・温度移行馴養 初期調整 汚泥投入操作	馴養期間及び終了条件
	馴養期間処理水採水頻度
	シーディング方法
	温度移行馴養期間及び終了条件（温度移行実施の場合に適用）
	温度移行方法（温度移行実施の場合に適用）
	温度移行馴養期間処理水採水頻度（温度移行実施の場合に適用）
	汚泥投入量： L 想定濃度 mg/L (汚泥投入操作を行う場合に適用)
汚泥投入箇所： (汚泥投入操作を行う場合に適用)	
負荷試験	試験水温 °C
	処理水採水頻度
	処理水水質測定項目
試験実施工程	馴養期間
	低温負荷試験期間（13°C）
	温度移行馴養期間
	恒温通常負荷試験期間（20°C） 恒温短期負荷試験期間（20°C）
試験槽の維持管理	保守点検頻度 回 / (週・ヶ月)
	実施形態： 清掃（汚泥引抜き）頻度 回 / (週・1年)
	実施形態：

上記に記載の 1. 2. の事項及び別紙 浄化槽試験業務約款第 19 条に基づく別途協議事項のすべてについて確認・了解のうえ、試験を申し込みます。
 なお、試験成績書の発行は[実施・不要]としてください。(どちらかに○を付けてください。)

● 試験申込責任者：(以下空欄に記名、捺印してください。)

会社名：
 部署名：
 氏名： 印
 tel：

別紙 浄化槽試験業務約款第 19 条に基づく別途協議事項

1. 試験申込者が行う作業に伴って発生した事故・災害等に関する補償は、試験申込者において負担するものとする。
2. 試験申込者が故意または過失により当財団または第三者に与えた損害については、試験申込者が賠償の責を負うものとする。

付属資料 1 記入例

浄化槽性能確認試験の試験条件設定に係る確認書

1. 浄化槽性能確認試験の責任確認事項

一般財団法人 日本建築センター（以下、「当財団」という）が行う浄化槽の性能確認試験は、「浄化槽の性能評価方法」、「浄化槽の性能評価方法細則」及び「浄化槽試験実施要領（浄化槽性能確認試験）」に基づき、試験申込者が当財団に依頼した試験方法・試験設定条件（試験槽の選定、構造等を含む）等（以下、「試験条件」という）で行います。

当財団が行う浄化槽の性能確認試験に関わる責任は、試験申込者が設定した試験条件に従って試験を行い、それにより得られた結果を試験成績書として発行することにあります。ただし、その試験成績書をもって「浄化槽の性能評価」への申請は出来ませんのでご注意ください。

また、性能確認試験において、試験申込者が行う作業等（試験槽の搬入、搬出、設置作業、試験申込者が自ら行う試験槽の維持管理作業（保守点検、清掃、採水その他定期的なメンテナンス等）、試験槽の修理や構造変更作業等）の実施に係わる安全の確保、作業の実施に伴って発生した事故・災害等に関する補償及び試験申込者が故意または過失により当財団または第三者に与えた損害についての賠償の責任は、試験申込者にありますので、作業の実施にあたっては十分ご注意ください。（浄化槽試験業務約款第 19 条に基づく別途協議事項 別紙）

メモ：ご依頼の試験条件を明確にするため、以下の事項について記載事例を参考にご記入ください。
 また、該当しない項目については、「該当なし」とご記入ください。以下の記載事例はあくまでも一例であり、このとおりに記載しなくてはならないということではありません。
 なお、「説明文」等は記入不要です。
 試験成績書の発行を不要とされる場合、《付属資料 1》の記載事項（各項目・記入欄参照）の一部を省略できます。

2. 浄化槽試験の設定条件

項目	申込者記入欄 (記入方法：□ のみの項目はいずれかにレ印をチェック、その他は具体数値、構造、方法等を記入して下さい。)
性能評価試験申込予定 浄化槽の概要	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭用浄化槽 <input type="checkbox"/> 一般浄化槽 目標処理水質項目 BOD <u>20</u> mg/L 以下、T-N <u>20</u> mg/L 以下、T-P _____mg/L 以下 pH <u>5.8~8.6</u> 、大腸菌群数 <u>3,000</u> 個/cm ³ 以下 その他 _____ 処理対象人員： <u>5</u> 人 ~ <u>10</u> 人 日平均処理水量： <u>1.0</u> m ³ ~ <u>2.0</u> m ³
試験槽形状	<input checked="" type="checkbox"/> 一体型 (FRP 製等) <input type="checkbox"/> 分割型 (単位装置組み合わせ型) <input type="checkbox"/> その他 (_____) 試験槽寸法 (最大) 幅 <u>1.20</u> m、長さ <u>2.55</u> m、高さ <u>1.80</u> m (別途架台 <u>0.4</u> m) 試験槽の流入管底・放流管底 (試験槽底部からの高さ) 流入管底 <u>1.55</u> m 放流管底 <u>1.45</u> m
試験槽規模	例 1) <input checked="" type="checkbox"/> フルスケールモデルプラント (実槽に詰め物をしたもの等) <u>5</u> 人槽 例 2) <input checked="" type="checkbox"/> スケールダウンモデルプラント <u>17</u> 人槽 スケールダウンの比率 <u>0.333</u> (= <u>17</u> 人槽 / <u>51</u> 人槽)

記入例

項目	申込者記入欄 (記入方法: □ のみの項目はいずれかにレ印をチェック、その他は具体数値、構造、方法等を記入して下さい。)
試験水量の設定	<p>日平均処理水量: 例1) 1000 L/日 例2) 3400 L/日</p> <p>流入パターン: 例1) 5~10 人槽 例2) 51~100 人槽</p> <p>移送流量 例1) 13 L/分 例2) 14.7 L/分 (44×17/51=14.66)</p> <p>最大瞬間流量 例1) 59 L/分 例2) 43.4 L/分 (130×17/51=43.33)</p> <p>恒温短期負荷試験k値 (以下のいずれかの数値に○印) <input checked="" type="checkbox"/> 1.5 1.45 1.35 1.3 1.25 1.2</p> <p>説明: 「浄化槽の性能評価方法細則」及び「浄化槽性能確認試験実施要領」を参考とし、試験に供する試験槽の規模等、記載してください。</p>
試験槽付帯設備 [成績書不要の場合は吐出風量を省略可能]	<p>電動機器の仕様 (ブロワ、ポンプ類、制御盤) ブロワ 100V 80W 1基 (吐出風量 80 L/分) 凝集剤添加装置 100V 50W 1基</p> <p>説明: 使用するブロワについては吐出風量を記載してください。使用する電気容量の把握のため、全ての付帯設備 (電動機器類) を記載して下さい。</p>
試験期間 [成績書不要の場合は負荷試験の内訳を省略可能]	<p>試験期間: 例1) 24週間 (馴養期間を含めて16週間低温負荷試験を行い、その後恒温通常負荷試験を行う。) 例2) 16週間 (全ての期間を低温負荷試験とする。)</p> <p>説明: 試験実施予定の期間とその内訳を記載してください。ただし、試験期間には搬入と搬出作業及び馴養に要する期間を含めるものとします。なお、最短試験期間は4週間とし、最大24週間まで1週間単位で設定可能です。</p>
馴養・温度移行馴養 初期調整 汚泥投入操作 [成績書不要の場合は省略可能]	<p>馴養期間及び終了条件 例1) 馴養期間は4週間とする。 例2) 馴養期間は定めない。</p> <p>説明: 馴養の終了条件を記載してください。</p> <p>馴養期間処理水採水頻度 例1) 馴養開始2週目より1回/週の頻度で行う。 例2) 馴養期間中の採水は不要とする。</p> <p>説明: 馴養期間中の処理水採水頻度を記載してください。</p> <p>シーディング方法 例1) ○○社製●●を用いる。××槽に100g、△△槽に100g各々投入する。 例2) シーディングは実施しない。</p> <p>説明: シーディング方法を記載してください。</p> <p>温度移行馴養期間及び終了条件 (温度移行実施の場合に適用) 例1) 温度移行馴養期間は2週間とする。 例2) 該当なし。</p> <p>説明: 温度移行馴養期間の終了条件を記載してください。ただし、温度移行馴養を実施しない場合は「該当なし」と記載してください。</p>

記入例

項目	<p style="text-align: center;">申込者記入欄</p> <p style="text-align: center;">(記入方法：□ のみの項目はいずれかにレ印をチェック、その他は具体数値、構造、方法等を記入して下さい。)</p>
	<p>温度移行方法 (温度移行実施の場合に適用)</p> <p>例 1) 低温負荷試験終了後、試験用原水水温を 20℃にする。(温度勾配は不要とする。)</p> <p>例 2) 温度移行は不要とする。</p> <p>説明：温度移行方法及び温度勾配の有無を記載してください。ただし、温度移行を実施しない場合は「温度移行は不要とする」と記載してください。</p> <p>温度移行馴養期間処理水採水頻度 (温度移行実施の場合に適用)</p> <p>例 1) 1週目より 1回/週の頻度で行う。</p> <p>例 2) 該当なし。</p> <p>説明：温度移行馴養期間中の処理水採水頻度を記載してください。ただし、温度移行馴養を実施しない場合は「該当なし」と記載してください。</p> <p>汚泥投入量： 240 L 想定濃度 50,000mg/L (汚泥投入操作を行う場合に適用)</p> <p>説明：汚泥投入操作を実施する場合は、その汚泥投入量と設定(想定)濃度を記載してください。また、試験開始時に実際に投入した汚泥量と濃度が設定値と異なる場合は、実際に行った値に修正してください。</p> <p>汚泥投入箇所： 沈殿分離槽に 140L、嫌気ろ床槽に 100L</p> <p>説明：汚泥投入操作を実施する場合は、投入箇所と投入量の内訳を記載してください。上記「汚泥投入量」を変更した場合は、同時に修正して下さい。</p>
<p style="text-align: center;">負荷試験</p> <p>[成績書不要の場合は処理水水質測定項目を省略可能]</p>	<p>試験水温</p> <p>例 1) 13℃と 20℃ (途中で温度移行を実施)</p> <p>例 2) 13℃</p> <p>例 3) 20℃</p> <p>説明：試験期間中の設定水温を記載してください。</p> <p>処理水採水頻度</p> <p>例 1) 1回/4週</p> <p>例 2) 1回/週</p> <p>説明：負荷試験期間中の処理水採水頻度を記載してください。試験における最大の採水頻度は 1回/週となりますが、試験申込者が自身で行う作業により点検と同時に行う処理水の採水は可能です。なお、処理水採水は試験所が行い、その測定を時々、又は全て試験申込者が行うとする事も可能です。ただし、試験所による処理水測定頻度が 1回/4週よりも少ない場合は、試験成績書を発行することが出来ませんのでご了承ください。</p> <p>処理水水質測定項目</p> <p>例 1) pH、BOD、COD、SS、T-N、NH₄-N、残留塩素</p> <p>例 2) pH、BOD、SS、T-N、T-P、大腸菌群数、残留塩素</p> <p>例 3) pH、BOD</p> <p>説明：負荷試験期間中の処理水水質測定項目を記載してください。試験所による測定を実施しない場合は省略可能です。ただし、試験成績書を発行できませんのでご了承ください。</p>

記入例

項目	申込者記入欄 (記入方法：□ のみの項目はいずれかにレ印をチェック、その他は具体数値、構造、方法等を記入して下さい。)
試験実施工程 [成績書不要の場合は省略可能]	馴養期間 ●/●~○/○ 低温負荷試験期間 (13℃) ○/○~□/□ 温度移行馴養期間 □/□~■/■ 恒温通常負荷試験期間 (20℃) ■/■~▲/▲ 恒温短期負荷試験期間 (20℃) 例1) ▲/▲~△/△ 例2) 該当なし 説明：馴養・温度移行馴養期間、各負荷試験期間の実施期間を記載してください。ただし、該当しない場合は「該当なし」と記載してください。
試験槽の維持管理 [成績書不要であり、試験申込者実施の場合は保守点検頻度、清掃頻度を省略可能]	保守点検頻度 例1) 1回/ (一週・4ヶ月) 例2) 1回/ (2週・一ヶ月) 実施形態：試験申込者が行う。 説明：試験槽の保守点検頻度、及び保守点検の実施形態を記載してください。保守点検作業を試験所にご依頼される場合は別途費用が必要となります。 清掃（汚泥引抜き）頻度 例1) 1回/ (一週・1年) 例2) 1回/ (2週・一ヶ月) 実施形態：試験申込者が行う。 説明：試験槽の清掃頻度を記入してください。汚泥引抜き作業を試験所にご依頼される場合は別途費用が必要となります。

上記に記載の1. 2. の事項及び別紙 浄化槽試験業務約款第19条に基づく別途協議事項のすべてについて確認・了解のうえ、試験を申し込みます。

なお、試験成績書の発行は[実施・不要]としてください。(どちらかに○を付けてください。)

● 試験申込責任者：(以下空欄に記名、捺印してください。)

会社名：

試験条件の打ち合わせ後に、試験申込責任者の記名、捺印を行ってください。

部署名：

なお、本紙の「試験申込責任者」は【性能確認試験申込書】《様式1》に記載された「責任者」と異なる人物でも可能です。 印

氏名：

t e l :

記入例

別紙 浄化槽試験業務約款第 19 条に基づく別途協議事項

1. 試験申込者が行う作業に伴って発生した事故・災害等に関する補償は、試験申込者において負担するものとする。
2. 試験申込者が故意または過失により当財団または第三者に与えた損害については、試験申込者が賠償の責を負うものとする。

「浄化槽性能確認試験の試験条件設定に係る確認書」をご提出頂く際には、必ず「別紙 浄化槽試験業務約款第 19 条に基づく別途協議事項」(本紙)を添付してください。

試験槽の確認項目

申込者記入欄				試験員記入欄
確認項目	基準値	計測方法	備考	実測値

付属資料 2 記入例

試験槽の確認項目

試験成績書の発行を不要とされる場合は、資料の提出を省略できます。

申込者記入欄					試験員記入欄
確認項目	基準値	計測方法	備考	実測値	
担体流動槽	散気風量	80L/min	風量計	試験槽には、風量計を設置する。	
嫌気濾床槽 1室	長さ	1200mm	メジャー	流入管部から仕切り板まで。 FRP で製作する都合上、1~2cm 程 度の誤差が発生する可能性がある。	
	幅	1000mm	メジャー		
	水位	1350mm	メジャー	HWL を測定する。	
	濾材容量	600L	ポリバケツで 容量を測定		
嫌気濾床槽 2室	長さ	800mm	メジャー		
	幅	1000mm	メジャー		
	水位	1350mm	メジャー	HWL を測定する。	
	濾材容量	400L	ポリバケツで 容量を測定		
担体流動槽	長さ	1200mm	メジャー		
	幅	1000mm	メジャー		
	水位	1350mm	メジャー		
	濾材容量	300L	ポリバケツで 容量を測定		
	パツフル位置	生物濾過槽 側から長さ 方向に 200mm	メジャー		
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

試験員の確認を必要とする事項がある場合、本様式の申込者記入欄に記載して下さい。

なお、記載事項の計測は、試験槽の搬入・設置時に試験員立会いのもとで、試験申込者に実施して頂きます。